



まつえだよい



病気のこと、お薬のこと、 歯医者さんに教えてください!



歯科の治療に

なぜ体の病気やお薬が関係するの?



お口は体の一部です。そのため、体の病気やお薬によっては、治療時にお口が影響を受けることがあります。逆に、お口の治療や使用のお薬などが体の病気に影響することもあります。

相互に影響を与える病気

糖尿病 ← 歯周病

■ = お口
■ = 全身

持病に影響を与える
歯科治療や歯科疾患

高血圧症、狭心症 ← 麻酔薬の使用

狭心症発作、ぜんそく発作 ← 治療中の痛み、ストレス

掌蹠膿疱症 ← むし歯、歯周病、歯科用金属

歯科疾患や歯科治療に影響を与える持病

シェーグレン症候群 → むし歯、口腔乾燥症

先天性心疾患 → 抜歯、外科手術後の感染(心内膜炎)

血液疾患 → 出血、感染症



歯科の治療に

病気とお薬の情報が必要なのよ



1 歯科治療にはストレスをとまなうから

治療中の不安や緊張、体への負担から、急な体調の変化が起きてしまうことがあります。

2 麻酔の作用が大きくなる、変化することがあるから

むし歯治療や抜歯など多くの治療に局所麻酔が用いられます。持病によっては、使える麻酔薬や麻酔方法が限られる場合があります。

3 治療時に出血が止まりにくくなることがあるから

歯科では出血をとまなう治療が多くあります。飲んでお薬によっては、血が止まりにくくなる場合があります。

4 アレルギーになりうる薬品や材料を使用することがあるから

薬品や材料によって、ぜんそく発作などのアレルギー症状を起こすことがあります。

5 感染症や副作用のリスクがあるから

使用しているお薬や持病の影響で、お口の中が細菌感染しやすくなっていたり、副作用を生じやすくなっている場合があります。

体の病気の状態やお薬の種類によって、
歯科の治療に影響することがあります。安心・安全な治療のためには、持病とお薬の情報を教えていただくことが、とても大切です。
皆様宜しくお願い致します。

